

ごあいさつ

慶應義塾大学商学会

会長 榊原 研互

商学会とは、商学部専門分野（経営、会計、商業、経済・産業）の専任教員で組織される商学部の付属機関です。商学に関する研究を奨励・促進し、会員相互および慶應義塾大学商学部・大学院商学研究科の学生の啓発を図り、さらに内外の学界・産業界・社会文化の発展に寄与することを目的として、1961年4月に設立されました。

その目的を達成するために、商学会ではさまざまな活動を行っています。代表的なものは、『三田商学研究』や *Keio Business Review* などの定期刊行物の出版です。これらは、会員のみならず、商学研究科の大学院生による研究成果の発表の場ともなっています。また、会員による出版物への補助、研究報告会の開催、研究会（ゼミ）活動への補助、ゲストスピーカーの招聘やシンポジウム・学会の開催などに対する補助も行っています。

学部学生に向けては、毎年懸賞論文を募集し、厳正な審査を通過した優秀論文を表彰するとともに、それらを『三田商学研究学生論文集』に収録して刊行しています。

こうした活動の大きな支えとなっているのが、授業料とともに徴収される学生納付金です。その意味でも、商学会の支援を受けて行われる研究の成果は、何らかの形で学生に還元されるべきものと考えています。商学会の活動を通して、会員や学生の研究が促進され、それが商学部・商学研究科のさらなる活性化につながることを願ってやみません。